

2026年8月7日

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社

## ひとり親家庭居住支援第2号ファンドへの出資参画について

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社(代表取締役:若尾 逸男)は、みずほ不動産投資顧問株式会社(代表取締役社長:辻 泰幸)、みずほ信託銀行株式会社(取締役社長:笹田 賢一)、株式会社みずほ銀行(頭取:加藤 勝彦)、シングلزキッズ株式会社(代表取締役:山中 真奈)、一般社団法人日本シングルマザー支援協会(代表理事:江成 道子)らが立ち上げた、ひとり親家庭の居住支援ならびに、ひとり親家庭のステップアップを支援する、ひとり親家庭居住支援第2号ファンド(以下、「本ファンド」)へ出資参画いたしました。

本ファンドは、2025年10月に出資参画した「ひとり親家庭居住支援第1号ファンド」に続く取り組みであり、不動産私募ファンドの仕組みを活用し、ひとり親家庭に対する好条件での住まいの提供と、マインドアップ・スキルアップを目的とした伴走支援を一体的に行うものです。

日本では、ひとり親家庭、とりわけ母子世帯において、所得水準や住居、就労、子育て等に関する課題が依然として大きく、住まいの安定は、生活基盤の確保や将来の自立に向けた重要な要素となっています。

本ファンドでは、ひとり親家庭が安心して暮らすことができる賃貸住宅を入居しやすい条件にて提供します。あわせて、ひとり親家庭の自立支援に豊富な実績を有するシングلزキッズ株式会社および一般社団法人日本シングルマザー支援協会が連携し、入居者に対して「ステップアップサポート」を提供します。ステップアップサポートでは、入居者のマインドアップとスキルアップを目的に、就労、家計、子育て、キャリア形成等に関する伴走支援を行い、ひとり親家庭が安心して子育てと自身の将来設計に向き合える環境づくりをめざします。

また本ファンドでは、第1号ファンドで実装した社会的インパクトの定量評価の考え方を踏まえ、運用期間中において、入居者の生活安定や自立に向けた変化について継続的にモニタリングを行います。住宅の提供にとどまらず、支援の成果を可視化することで、不動産投資を通じた社会的インパクト創出をさらに推進します。

本ファンドへの出資参画を通じて、ひとり親家庭の居住支援の拡大、社会的インパクト不動産の普及、ならびに持続可能な社会の実現に貢献します。

〈ファンド概要〉

|             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| 名称          | ひとり親家庭居住支援第2号ファンド                   |
| 運用期間        | 2026年8月1日より5年間(予定)                  |
| 総資産規模       | 約80億円                               |
| アセットマネージャー  | みずほ不動産投資顧問株式会社                      |
| レンダー        | 株式会社みずほ銀行                           |
| ステップアップ支援法人 | シングلزキッズ株式会社<br>一般社団法人日本シングルマザー支援協会 |

以 上

### ■三菱HCキャピタルリアルティ株式会社について

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社は、投資した不動産のバリューアップを図る不動産再生投資事業のほか、不動産ソリューション事業、物流投資事業、ホテル投資事業、不動産ファイナンス事業など、不動産の価値を高めるさまざまな取り組みを通じて、都市や社会の課題解決に取り組んでいます。

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社ホームページ: <https://www.mitsubishi-hc-capital-realty.co.jp/>

■■■ 報道関係者様のお問い合わせ先 ■■■

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社

経営企画部 TEL: 03-6775-9280